

令和6年度(2024年度)S-TEAM教育推進事業「STEAM」推進プロジェクト
「理数探究セミナー」(高等学校) 実施要項

1 目 的

探究的な学習について、理科・数学における課題研究や新科目「理数探究基礎」及び「理数探究」を通じた指導方法の理解を深め、実践的指導力の向上を図るとともに、授業の改善・充実にに向けた方策を考えることを目的とします。

2 主 催

北海道立教育研究所

3 期 日

- (1) 令和6年(2024年)11月27日(水) 遠隔・集合選択型研修
- (2) 令和6年(2024年)12月9日(月) 遠隔型研修Ⅰ
- (3) 令和7年(2025年)1月30日(木) 遠隔型研修Ⅱ

4 実施方法及び会場

(1) 実施方法

本講座は、全3回の研修のうち、1回目の研修は遠隔・集合選択型研修、2回目及び3回目の研修は遠隔型研修により実施します。

(2) 会 場

ア 遠隔・集合選択型研修及び遠隔型研修

各受講者の勤務校(勤務校にしながら受講することが可能です。)

(集合型研修を選択の場合は北海道釧路湖陵高等学校(釧路市緑ヶ岡3丁目1番31号)が会場となります。)

5 参加対象

高等学校理科及び数学科担当教諭

6 研修内容及び日程(職場実践(自己研修)を除く)

11/27（水） 遠隔・集合選択型研修		12/9（月） 遠隔型研修Ⅰ	1/30（木） 遠隔型研修Ⅱ
受付 〔8:50～〕	接続受付〔8:50～9:05〕 接続最終確認〔9:05～9:15〕	接続受付〔12:55～13:05〕 接続最終確認〔13:05～13:15〕	接続受付〔12:55～13:05〕 接続最終確認〔13:05～13:15〕
開講・オリエンテーション 〔9:15～9:30〕		開講・オリエンテーション 〔13:15～13:30〕	開講・オリエンテーション 〔13:15～13:30〕
講義Ⅰ 〔9:30～10:00〕 教科「理数探究基礎」に関する基本的事項の理解 【釧路湖陵高等学校 会議室】		講義 〔13:30～15:00〕 「STEAM教育について」 東京学芸大学大教授 大谷 忠 氏	講義・演習 〔13:30～14:40〕 探究的な学習における データサイエンス
演習Ⅰ 〔10:00～10:30〕 課題の明確化 【釧路湖陵高等学校 会議室】			講話 〔14:50～16:00〕 探究的な学習に向けた 指導方法の提案
講義・演習Ⅱ 〔10:40～12:00〕 適切な課題設定及び仮説の設定 【釧路湖陵高等学校 会議室】		研修の振り返り 〔16:00～16:35〕 今後の取組の明確化	
昼食・休憩（12:00～13:00）			
講話・授業参観 〔13:00～14:05〕 理数科における探究的な学習 【釧路湖陵高等学校 各教室】		研修の振り返り 〔16:25～16:35〕	
講話・研究協議 〔14:15～15:45〕 探究的な学習における実践報告と 探究活動の評価方法 【釧路湖陵高等学校 会議室】			
研修の振り返り 〔15:45～16:00〕			

7 講師

遠隔型研修Ⅰ

【講義】「STEAM教育について」

東京学芸大学大学院教育学研究科教育実践創成講座 大谷 忠 氏

8 その他

(1) 申込み時の留意事項

ア 研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただきます。

そのため写真に顔等が映り込む場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

イ 遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末（カメラ機能・音声入出力機能有り）を用意してください。

(2) 受講時の留意事項

ア 受講者としてふさわしい服装で受講してください。

イ 会場は駐車スペースがありません。公共交通機関をご利用ください。

ウ 本研修講座で使用する配信画面、配信動画等を無断で録画（スクリーンショットでの撮影を含む）、録音、ダウンロードしないでください。

エ 接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については、別途お知らせします。

(3) 公開講義について

本研修の一部講義は、「教員研修プラットフォーム」を用いて、後日、研修受講者以外にも公開する予定です。